

# 仮置場設置訓練の結果報告

資料 3-5

## <目的>

- 道内の市町村及び一部事務組合（広域連合を含む）及び廃棄物処理関係機関（民間事業者等）の職員を対象とし、災害時に市町村職員等が迅速な対応ができるように、仮置場の設置をするとともに、受付や搬入等の役割を入れ替えながら、仮置場の運営の実地訓練を実施する。

## <実施内容>

- 仮置場設置に係る事前勉強会（WEB）
- 仮置場設置訓練

## <参加者（設置訓練）>

- 自治体職員 帯広会場：36名、日高会場：27名  
（北海道庁・（総合）振興局、市町村、一部事務組合、広域連合）
- 民間事業者 帯広会場：5名、日高会場：1名



帯広会場



日高会場

## ○ 開催概要

会場	日時	内容	参加者
帯広会場	10月10日（木） 10時～12時	事前勉強会（WEB開催） 事後視聴①10月11日（金）10時～12時 事後視聴②10月15日（木）13時～15時 事後視聴時も質疑対応	41名
	10月17日（金） 10時～16時	仮置場設置訓練 午前：レイアウト検討 午後：仮置場の設置 実施訓練 振り返り	
日高会場	10月22日（火） 10時～12時	事前勉強会（WEB開催） 事後視聴①10月24日（木）10時～12時 事後視聴②10月29日（火）13時～15時 事後視聴時も質疑対応	28名
	10月31日（木） 10時～16時	仮置場設置訓練 午前：レイアウト検討 午後：仮置場の設置 実施訓練 振り返り	

※事前勉強会の受講は訓練参加者必須としたが、訓練参加者以外も受講可能とした。

## ○ 事前勉強会内容（帯広会場）

### ●事前勉強会：事前学習の項目

1. 災害種別と災害廃棄物の特徴
2. 初動対応の重要性
3. 仮置場の種別とその役割
4. 仮置場の設置について
5. 近年の災害における仮置場での片付けごみの対応例
6. 災害廃棄物の初動対応に関するまとめ

### ●帯広会場 事前勉強：豪雨による水害・土砂災害を想定した内容

**帯広** 豪雨による水害・土砂災害での災害廃棄物の特徴

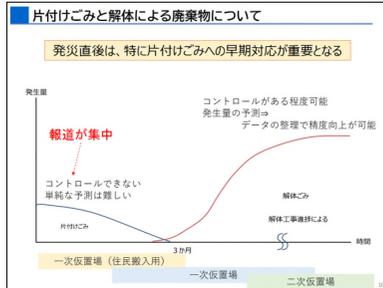
片付けごみ発生 発災直後から間合せ、発生のピークは1か月程度の間、混合廃棄物が集まる

・主に、住民が自宅内にある被災したものを片付ける際に排出される廃棄物。  
・床上、床下浸水による片付けごみが多い。こみは水分や泥等を含み、嵩張しやすい。  
・床下の浸水・汚染状況のため、屋内の清掃のために排水が必要だが、その際に、排出された家財などが混合状態となりやすい。（被災家財からの排出から分別が有効）  
・ゴミ出しは地震時より早くするため早期の対応が必要

被災現場 片付けごみ発生  
仮置場 片付けごみ（混合廃棄物）

公費家財解体 災害査定と並行して発生し、分別廃棄物が集まる  
被災現場 公費家財解体  
仮置場 公費家財解体

被災現場 家財解体（重地分別解体）  
仮置場 家財解体（重地分別解体）



## ○ 実地訓練概要（帯広会場）

### ●帯広会場

#### 訓練場所



#### 訓練のスケジュール

##### ※訓練前・事前勉強会【豪雨災害】

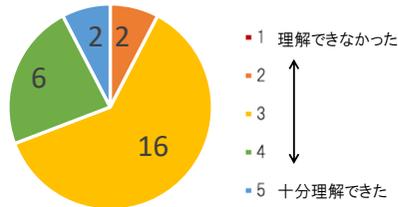
10月17日	時間	内容	参照
↓	10:00～10:30	受付	—
	10:30～10:35 (5分)	開会	—
	10:35～10:40 (5分)	スケジュール、実施方法説明	—
(屋内)レイアウト検討		レイアウト検討	p.7～8
		設置するレイアウトの決定	—
	11:15～11:25 (10分)	必要資機材の確認	p.9
	11:25～11:30 (5分)	連絡事項	—
(屋外)仮置場の設置	11:30～12:30 (60分)	昼休憩	—
	12:30～12:35 (5分)	仮置場の設置に関する実施方法説明	—
		仮置場の設置	p.10
	13:05～13:10 (5分)	実地訓練に関する実施方法説明	—
(屋外)実地訓練		実地訓練 [10分×6セット] [入れ替え時間で休憩]	p.11～12
	14:45～15:05 (20分)	休憩	—
(屋外)振り返り		振り返り	p.13
	15:40～15:45 (5分)	振り返り発表	—
		閉会	—

■：屋内訓練、■：屋外訓練



○実施後アンケート(帯広会場)

Q 1. 本訓練を通じて、仮置場の設置・運営の流れを理解できましたか。

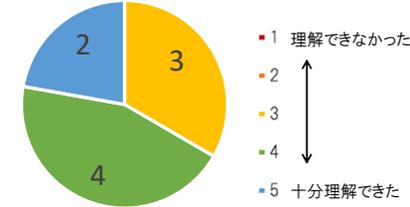


Q 2. 訓練の前後で、御自身の理解度はどのように変化しましたか。訓練前後の理解度について数字でご回答ください。

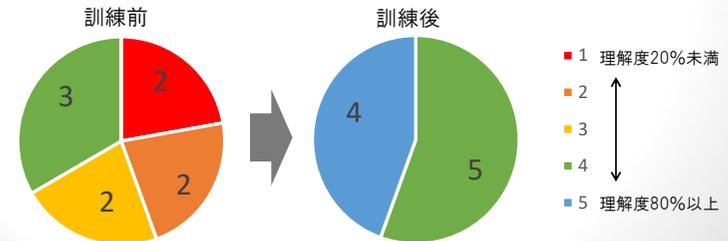


○実施後アンケート(日高会場)

Q 1. 本訓練を通じて、仮置場の設置・運営の流れを理解できましたか。



Q 2. 訓練の前後で、御自身の理解度はどのように変化しましたか。訓練前後の理解度について数字でご回答ください。



○ 実施後アンケート・意見結果まとめ

● アンケート内容 (1)

項目	意見内容
(1)事前勉強会	重要な内容の理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 初動対応の重要性や仮置き場の基本的な考え方、実際の事例を学習。</li> <li>✓ 災害廃棄物対応の知識や過去の事例からの学習の重要性。</li> <li>✓ 基本的事項を事前に学習することで、円滑な実地訓練の参加が可能に。</li> </ul>
	情報把握・情報共有の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 現地の状況を把握する情報が重要、具体例や良い/悪い事例が理解を助けた。</li> <li>✓ 連携機関や部署間での情報共有が重要。</li> </ul>
(2)仮置場レイアウトの検討	時間の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 訓練時にレイアウト作成に十分な時間を確保するべき。</li> </ul>
	配置の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 可燃物と不燃物の配置や交通の流れを考慮する必要がある、火災リスク</li> <li>✓ 廃棄物の種類に応じた配置や、動線の考慮が必要</li> </ul>
	意見交換の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 意見を出し合う時間を設けることで、多様な意見を共有できる。</li> <li>✓ 外回りのレイアウトや他グループのアイデアから学ぶ重要性</li> <li>✓ 各市町村における最適なレイアウトの知識を共有する必要がある</li> </ul>
(3)実施訓練の資機材について	資機材の選定基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 準備資機材の選定に疑問があり、経験に基づく資材準備が必要</li> </ul>
	表示や仕切りの重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カラーコーンや看板等に対し視認性を高める必要がある。</li> </ul>
	事前確認の必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 資機材の保管場所や代用可能な物に関する平常時の準備</li> <li>✓ 資機材の不足や劣化を事前に確認することが重要。</li> </ul>
	連携とコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多くの職員の参加が重要であり、資機材の扱いへの理解が必要</li> <li>✓ トランシーバーなどを用いた意思疎通の重要性。</li> </ul>

○ 実施後アンケート・意見結果まとめ

● アンケート内容 (2)

項目	意見内容
(4)実施訓練の受付係について	流れの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 受付の流れや必要な情報の確認が不十分であった</li> </ul>
	スムーズな受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 受け入れのスムーズさが全体の混雑解消に重要。役割分担の明確化が求められている。</li> <li>✓ 受け入れのスピード向上のため、複数の受付を設置</li> </ul>
	搬入者への案内 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 搬入物の確認や適切な案内の準備が必要</li> </ul>
(5)実施訓練の誘導係・受け入れ補助について	廃棄物の判断能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 受付係の知識が重要、適切な判断をするための教育が必要</li> </ul>
	人的資源の不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 誘導係を用意する余裕がないが、必要性が高い。</li> </ul>
	周囲の把握の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 常に周囲の状況を把握し、的確な誘導を心掛ける必要がある。</li> </ul>
	連携の必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 誘導係と受入補助係の連携が重要であり、役割分担の明確化が必要</li> <li>✓ 誘導係が他の係と連携して情報共有することが重要</li> </ul>
	事故防止のための配慮 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実際の現場での混雑を考慮し、警備誘導の必要性が指摘</li> </ul>
(6)振り返り・気づいたこと	正確な判断の共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 廃棄物の受け入れに関する知識を全員で共有する必要があるとの意見が共通している。</li> </ul>
	役割分担の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 役割分担を事前に決めておくことで、スムーズな運営が可能</li> </ul>
	災害時の不測の事態への準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実際の状況や不測の事態に対して柔軟な対応が必要</li> </ul>
	地域の状況を考慮すること <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域ごとの特性を考慮した訓練の重要性</li> </ul>
	ディスカッションの効果 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ディスカッションを通じて新たな視点を得る。</li> </ul>
	実地訓練の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 訓練を通じて流れや物品の過不足を確認することが重要。</li> </ul>

○ 実施後アンケート・意見結果まとめ

● アンケート内容（3）

項目	意見内容	
(7)ご意見・ご要望	準備不足の指摘	✓ 訓練の準備が不十分であったとの意見が多く、事務局の役割が不明瞭であったという指摘
	次回の開催希望	✓ 次回の訓練に対する期待や改善点があり、より実践的な内容を希望する声が多い。
	フィードバックの重要性	✓ 訓練後のフィードバックや評価により、自分の理解度を確認できるとの意見。
	仮置場の分類方法	✓ 仮置場の配置や分類方法に関する疑問、一定のルールを確認する必要があるとの意見
	ボランティアの活用	✓ 災害時にボランティアの活用が必要ではとの疑問。
	資料送付の工夫	✓ 資料送付に関する改善点が指摘されている。

●全体：地域特性に基づくもの、成功・失敗及び経験事例に基づく学習の要望、意見交換の有効活用が要望